

# 1977年夏、伊豆沼の越夏ハクチョウ

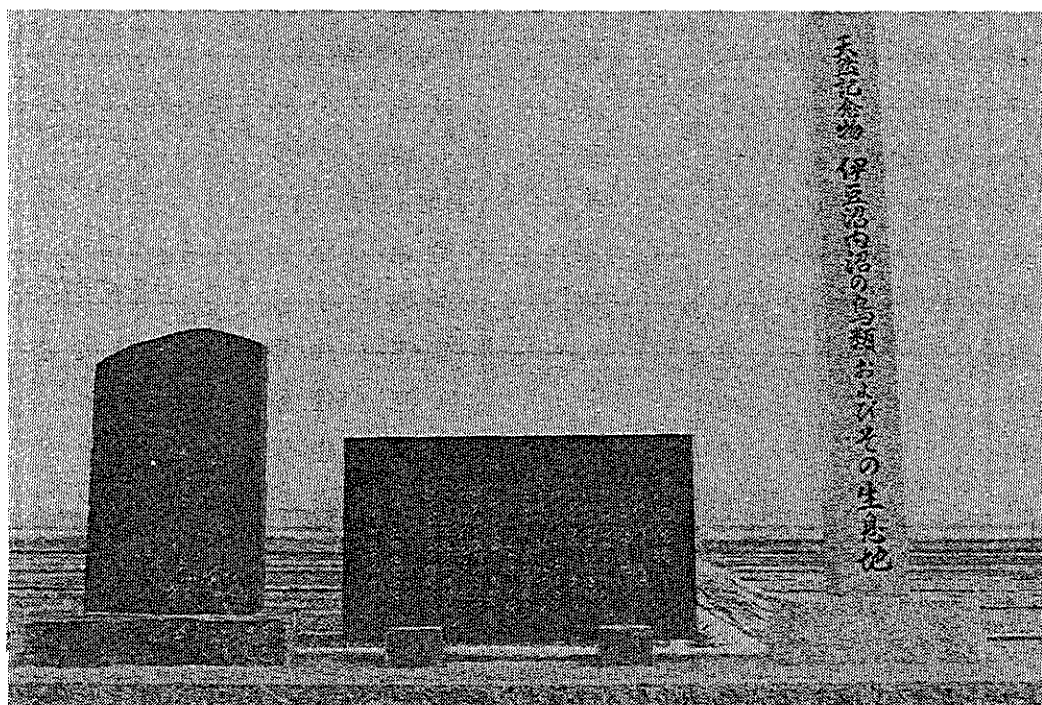
呉 地 正 行

観 察 者：横田 義雄 呉地 正行 阿部 益夫 加藤 博企 佐藤 哲  
寒沢 正文 小杉真理子 以上7名

観 察 の 目 的：今期宮城県伊豆沼には、大多数のハクチョウの渡去後も少数のハクチョウが残留した  
ので、それらが次期越冬期迄生息するか否かを記録に留める。

観 察 の 方 法：観 察 者 の うち の い ず れ か の 者 が 08:30~17:30 に わ た る 時 間 帯 の い ず れ か に 伊  
豆沼の一部 又は全部を観察する。

観 察 記 録：付表のとおり



結 論：以上を以て（付表参照）伊豆沼に残留したる少数の白鳥類のうち一部、オオハク  
チョウ2羽については次期白鳥類の渡去近く（約2週間前）迄生息したと云ってよい  
と考える。7月5日以後、9月16日迄の観察で、うち1羽は右翼の形が完全でな  
く、故障あるように見えたことから遠距離の飛行ができないのではないかと想像  
した。6月17日以後の2羽については、うち1羽が右羽に故障あるをしばしば観  
察した。又、これら以外に6月16日~7月16日及び、9月3日~10月7日に  
県内の他地域にハクチョウは表れていない。9月3日は、そのうち1羽は、けん著  
な、換羽直後の様相を見せた。このことから、これらが同一の2羽であって、伊豆  
沼内にひそみ、8月ころに換羽をおえたと考えるのが自然のように思う。

ただし、7月31日ころ、登米町住民（伊豆沼の東南方15km）の水田に1羽の  
ハクチョウが出没したという情報があったが、これは未確認で、伊豆沼の2羽のう  
ちの1羽であるかどうかは断定しがたい。

付 表

伊豆沼の越夏ハクチョウ類の記録

年月日	種・羽数	伊豆沼内場所 (東・中・西 と分けた)	見た人	記 事
1977.4.29	オオハクチョウ 3 コハクチョウ 1	中	呉地・小杉	
5.22	オオハクチョウ 3	東	阿部・加藤	
23	オオハクチョウ 3	東	呉地・小杉	
28	オオハクチョウ 3	東	呉地・小杉	
6. 4	オオハクチョウ 3	東	呉地・小杉	
5	オオハクチョウ 3	東・中	呉地・小杉	
(15)	オオハクチョウ 3	(東)	(河北新報記事)	
17	オオハクチョウ 2	東	呉地・小杉	地元民によると12日ころより2羽になったという
18	オオハクチョウ 2	東	呉地・小杉	
7. 5	オオハクチョウ 2	東	呉地・加藤・小杉	
15	オオハクチョウ 2	東	呉地・小杉	マコモ・ヨシ原中にひそみ、日中は首だけだしている
16	オオハクチョウ 2	東	呉地・小杉	
24	0		寒沢・佐藤	(確認できず)
8.19	0		寒沢・佐藤	( " )
20	0		寒沢・佐藤	( " )
26	0		呉地・小杉	( " )
(29)	オオハクチョウ 2	(場所不詳)	(河北新報記事)	
9. 3	オオハクチョウ 2	東	呉地・小杉	1羽は初列風切完全
15	オオハクチョウ 2	中	呉地・小杉	1羽は換羽が未完で、初列は翼不完全
16	オオハクチョウ 2	東	呉地・小杉	羽のじくがみえた
10. 2	オオハクチョウ 2	中	横田・呉地・小杉	夕方になって初めて水面に表れる
7	オオハクチョウ 2	中	呉地・小杉	